

PROGRAM

- | | |
|----------------|---------------|
| この道 | 詩：北原白秋 曲：山田耕筰 |
| 待ちぼうけ | 詩：北原白秋 曲：山田耕筰 |
| 風の子供 | 詩：竹久夢二 曲：中田喜直 |
| おやすみなさい | 詩：中井昌子 曲：中田喜直 |
| カロ・ミオ・ベン | ジョルダーニ |
| すみれ | スカルラッティ |
| ラルゴ（オンブラン・マイフ） | ヘンデル |

休胡

四季のコンサート 夏

1988年7月1日(金) 7:00 PM

浜松市民会館 東二階

第20号 10月28日(金) 17:00 PM 講師 原真理子 時間 17:00~18:30
第21号 12月4日(火) 17:00 PM 講師 原真理子 時間 17:00~18:30

(ニコキ・ウツムラ) 書 一 年 要

又，Nelson 在讨论时说，才子多大才子的歌前面已多处，「第九支舞曲」，「十一支」、「真话」等三回文比较起来更宜。二期会合耳。

| | |
|------------------------|--------|
| ピアノ独奏 | 金井信 |
| ウィーン我が夢の街 | ジーチンスキ |
| 「会議は踊る」より 唯一度だけ | ハイマン |
| 「セヴィリアの理髪師」より 今の歌声は | ロッシャニ |
| 「トスカ」より 歌に生き恋に生き | ブッチーニ |

1988年7月1日(金) 7:00 PM

666 (522) 807 韓文

16日6



佐藤しのぶ ソプラノリサイタル

この道

日本歌曲の父、山田耕筰は、その生涯に700曲に及ぶ歌曲や童謡を残していますが、中でも数多いのが、詩人北原白秋とのコンビによる歌です。意気投合した二人は毎晩、盃をくみかわし、語り合ながら一緒に歌を作ったということです。アカシアの花、馬車、時計台など、札幌特有の風物が折り込まれた『この道』は、大正11年白秋が北海道を旅した時の印象をもとに書いた詩で、大正15年、児童芸術雑誌「赤い鳥」に発表され、昭和2年に、山田耕筰が作曲したものです。

待ちぼうけ

この歌も北原白秋・山田耕筰コンビによる代表作の一つとしておなじみですが、大正14年に、当時の満州に渡っていた日本人の子供たちのために作られた童謡集「子供の村」に発表されたものです。題材は中国の民話からとられたもので、愚かな農夫のエピソードが、コミカルなタッチで描かれた一種のバラードです。

風の子供

豊かな旋律性と、リリカルなピアノの和声的処理で中田喜直は、日本のショーベルトにもたとえられる歌曲の大家です。そのもともと初期の作品に『六つの子供の歌』(昭和22年)におさめられた一曲。子供をうたった大人の歌曲を意図して作られ、旋律と叙情は満ちた珠玉の名品です。

おやすみなさい

風の子供と同様に『六つの子供の歌』の中の一曲。親しみやすい旋律と、軽やかで気がきいていて効果的な和声の両面で、理屈抜きの魅力をたたえています。この曲から「夏の思い出」や「雪の降る街を」にいたる道筋はごく自然なものといえるでしょう。

カロ・ミオ・ベン

ショルダーニはナポリに生れ、歌劇作曲家として活躍し、一時ロンドンにもいたことがある人。彼の残したオペラや宗教音楽は、こんにちまったく忘れ去られていますが、この『カロ・ミオ・ベン(いとしいわが恋人の意)』だけが非常に有名になっています。

すみれ

17~18世紀イタリアに活躍したスカルラッティはその生涯に110余りのオペラ、800曲にも及ぶ室内カンタータや教会音楽など多くの声楽作品を残しています。『すみれ』は、もっともボビュラーな作品ですが、この曲もまた出典はオペラ。1694年の『ピュロとデメトリオ』の第二幕のアリアです。

ラルゴ(オンブラ・マイフ)

今ではほとんど上演される機会のないヘンデルのオペラ『セルセ』の第一幕冒頭のアリア。日本でも古くから

独立した歌曲として、あるいは編曲されたピアノ独奏曲としてなじみの深い曲でしたが、なんといってもTVのC.F.、キャスリーン・バトルの歌で一躍ボビュラーになりました。

ウィーン我が夢の街

ベートーヴェン、モーツアルト、ショーベルト、そしてヨハン・シュトラウス一家が過ごした街、ウィーン、オレ減った石だまの小道を行けば、古き良き時代の都ウィーンがよみがえります。しっとりと情緒ただよう街並、緑の美しいウィーンの森、そして美味しいワイン、音楽ファンならずとも一度は訪ねてみたい街です。『ウィーン我が夢の街』は、そんなウィーンへの夢と憧れを満たしてくれる粹なウィーンの小唄です。

「会議は踊る」より 唯一度だけ

ウィーンといえば、御年配の映画ファンの方ならきっと思い出されるでしょう。トーキー初期のドイツ映画の名作『会議は踊る』そして主演のリリアン・ハヴェーの歌った主題歌『唯一度だけ』を…。ナポレオン失脚後のヨーロッパを支配しようとしていたオーストリア宰相メテルニヒが、1814年世界各国の元首、宰相を集めて開いた有名なウィーン会議『会議は踊る』されど会議は進まず。という歌まで生れたように、会議を有利に導くためのメテルニヒの策謀で、ウィーンは連日連夜、豪華な宴会と音楽と踊りに明け暮れていました。名画『会議は踊る』はそんなウィーンを背景に、ロシア皇帝とウィーンの下町娘のはかない恋を描いたもので、『唯一度だけ』は、ロシア皇帝さし廻しの馬車で、皇帝の別荘に向かうウィーン娘が、その幸せを沿道の人々に向かって歌う歌で、世界中で大ヒット曲となりました。

「セヴィリアの理髪師」より 今の歌声は

美しい娘ロジーナは、後見人である医者のバルトロの窓辺で聞いたリンドロ(実はアルマヴィーヴァ伯爵)の歌声にはげしく心をかきたてられ、素直でやさしい娘でも恋のためには強くなるのだと歌います。…ロッシーニのオペラの中でもっとも人気の高い作品『セヴィリアの理髪師』のこのアリアはオリジナルはメゾ・ソプラノの為に書かれましたが、現在ではソプラノがその高音のテクニックを發揮して歌う事が一般的になっています。

「トスカ」より 歌に生き恋に生き

ローマを訪れた方は、きっと立寄られたことでしょう。歌姫トスカがその城壁から身を投げたというサンタンジェロ城を…。歌姫トスカが思いを寄せている画家カヴァラドッジは政治犯の友人をかくまつた疑いで捕えられ、ひそかにトスカを愛している警視総督スカルピアの手で処刑されようとしています。トスカは、恋人の命とひきかえに、スカルピアに身を捧げると約束しながら、迫ってくるスカルピアを殺害してしまいます。でもスカルピアもさるもの、晴れて結ばれるかとかけ寄ったトスカの前で、カヴァラドッジは銃殺され、トスカも又城壁から身を投げるという悲恋物語。『歌に生き恋に生き』は、カヴァラドッジの命とひきかえに、スカルピアに迫られたトスカがその苦しい胸の中を歌う有名なアリアです。